

第36号
題字 佐田一郎

発行 / 前橋商工会議所青年部 (緑水会) 前橋市日吉町一丁目8番1号 編集 / 青年部総務広報委員会

代表幹事今年度の方針



前橋商工会議所青年部

代表幹事 小曾根 英明

前橋商工会議所青年部第17代代表幹事の大役を仰せつかり、その責任の重さに身の引き締まる思いです。

本年度は記念すべき21世紀幕開けの年であり、諸先輩方が築きあげた歴史と伝統を守り、前橋商工会議所青年部(緑水会)が後世に残る様、継承することが責務と考えます。

私は伝統を守るといふ事は、その時代での新しい取組を模索し開拓してこそ遂行されるものと考えます。それが、次世代へのステップとなり、継続させる最大の要素であると思えます。事業などで培われた会員相互の連携と協調を最重要視し、会員個々にもっとビジネスチャンスの場を確保できうる様、具体案を出して行かなければなりません。

『個々のビジネスネットワーク作り』『他地域経済との情報交換と分析』『商工会議所の有効活用』『役所との連携で生まれる地域経済活動の推進』

これらを足がかりに意欲の高い青年経済人を目指し、地域経済人としての役割をしっかりと自覚し、自ら家業を守り発展させていく気

概が求められます。

「元氣な前橋経済の振興」を真剣に考え、楽しくなければイベントじゃない”をスロ

ーガンに、固い信頼と厚き友情の人的交流、魅力あるY E G活動を指針にし、夢を持てる新時代を皆さんと共に歩んでいきたいと思えます。

微力ではありますが、緑水会発展のために努力を致しますので、会員皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副幹事としての抱負



副幹事
狩野 文雄

副幹事としての抱負は、代表幹事を補佐し、担当委員長のお手伝いをし、足を引っ張らないよう、務めてまいりたいと思います。

青年部の在籍も今年一年となってしまいましたので悔いのないように、楽しく過ごしたいと思えます。

会員の皆様、事務局の皆様、お騒がせ、お世話かけますが、どうぞ一年間宜しくお願いたします。

新年度副幹事の抱負



副幹事
嶋田 大和

今年度、小曾根代表幹事より副幹事を仰せつかりました嶋田です。昨年度に引き続いて二年目となります。昨年度一年間は、緑水会で多くの勉強をさせていただきました。何か足が地に着かないような感じの中で、皆様に充分お役に立てたかな?の副幹事でした。

現在は国家レベルでも企業レベルでも、また自分たちの身の回りでも、何が起きても不思議ではない状況です。社会状況が激動する



中で、私たち青年経営者は、個人としても強靱な精神力と対応力、さらに判断力を必要とされる時です。この緑水会は自己を鍛錬していく有効な手段ではないかと思えます。企業経営に王道なし。それぞれの企業で成功のパターンは異なります。中小企業の場合、経営者の信用信頼イコール企業。これだけの個性のある潜在能力のあるメンバーが集まっている中で、自分を磨いて欲しいと思えます。緑水会も激動の中、小曾根代表幹事のもとで、会員全員で魅力ある会にしていきましょう。

副幹事として思うこと



副幹事
山岸 直樹

新世紀を迎え、小曾根代表幹事のもと緑水会も新たなスタートをしました。副幹事という私には過ぎた大役を仰せつかり、いささかとまどうとともに、役に負けないよう努力していこうと思えました。また世の経済状況がこれだけ厳しい中、青年部の活動も会社や家族の協力があつてこそ成り立っていることを再確認しました。

時代の変化とともに青年部のありかたも変わっていかなくてはならないと思えます。が、挨拶をするとか年長者に敬語を使うなどの、どこにいても基本となることだけは変わらずに学び解らない人には覚えてもらいたいと思えます。

これからの私のテーマをあげさせてもらいますと、今後青年部が大きく、特にメンバー構成が変わっていく中で、自分がかのように携わっていくべきか、いけるのかを活動しながら積極的にさぐっていきたいと思えます。

一年間どうぞよろしくお願い致します。

総務広報委員長に就任して



総務広報委員長
伴 卓

本年度、総務広報委員長という大役をいただき大変恐縮するとともに、少しばかりの喜びを感じています。また、今までは先輩委員長達の活躍を見て感嘆するばかりだった私が、その立場になることに大きな戸惑いも感じていました。

入会以来、多くの現役メンバーや先輩方との交流の中で得た貴重なアドバイスや考え方は、公私にわたり私を成長させていたのだと感じています。本年度は委員長として微力ながら、この歴史と伝統ある前橋商工会議所青年部（緑水会）を運営するお手伝いができたらと考えています。

緑水会に参加しているだけで意義があると考えている私ですので、大きなことは申し上げられませんが、委員長としての役割を精一杯務めていきますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、当委員会のメンバーと事務局の皆様、一年間よろしく願っています。

三度目の委員長なのに、

ちよっと緊張



会員交流委員長
荻野 修二

卒業まで残り二年。少し、ペースダウンしてそのままゴールへと思っていましたが、突然小曾根代表幹事からの会員交流委員会委員長の指名、もう自分の出る幕ではないと思いましたが、つい人の良さ、お引き受けすることになりました。三度目とはいいながら前回は地域開発委員会を二期連続ですので、新任委員長のつもりでこの一年間頑張る決意であります。

本年の会員交流委員会の重点課題は、会員拡大と会員相互の交流と理解の二点であります。出席回数を増やし、会員相互の接点をより多くして会だけの繋がりだけでなく、酒でもよし、趣味でもよし、職場以外の遊び場づくりが出来るような委員会活動ができればと思います。本年は若い町田、藤咲の両副委員長には、少しプレッシャーになるかもしれませんが、お二人と、入会間もないメンバーがメインです。副幹事、理事は一生懸命フォローしますので、委員長の存在が薄れるような活躍を期待しています。来年三月には会議所青年部に入ってよかった、この一年間で遊び相手、相談相手の幅が広がったとの感想が聞けるよう頑張ります。そして、楽しい打ち上げ会が出来ますように！

経営研究委員長として



経営研究委員長
木暮 一裕

緑水会に入会して早や九年目。三年間の副委員長を経て、いよいよ委員長を仰せつかりました。最初に小曾根代表幹事から「経営の委員長を頼むよ」と電話を頂いた時は、大変困惑しましたが、この一年間は緑水会活動に誠心誠意、全力で臨むと決意し、引き受けることに致しました。私自身若輩者ではございますが、諸先輩方並びに委員会メンバーの方々には、御指導、御鞭撻を仰ぎ一年間乗り切る所存でございます。宜しくお願いいたします。

当委員会の活動内容は、本当の意味での経営研究をモットーに、昨年度立ち上げたホームページの運営、管理、拡充。併せて全会員へのインターネットの普及活動、新世紀の企業経営に関する勉強会の実施が主な活動内容となっております。是非とも会員皆様に興味を持ち、振るって参加頂けるよう、委員会内で企画、検討し、これからの企業経営に役立つ有意義な活動を目指し、一年間頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

地域開発委員長の抱負



地域開発委員長
石井 繁紀

今年度、地域開発委員会の委員長を仰せつかりました石井です。入会して七年目になりましたが、今までは気軽に行事に参加してきたと言つのがホンネです。本年、小曾根代表よりこのような大役を申しつかり、今なお責任の重さに恐縮している次第です。

地域開発委員長という名のもと、諸先輩方の築いた事業を再度検証し、残すべきものは良い形で継承し、更に、新しい時代にむけて何が求められているのか、必要とされているのかを、委員会での幅広い意見交換を通じて模索していきたいと考えています。

緑水会活動を通じて、幅広い見識とよりよい判断力を吸収し、互いの自己研鑽が積めるところとなると同時に、単純に楽しく参加できる委員会になるようにも心がけたいと思います。諸先輩方の築いたこの緑水会活動を通じて、地域社会で求められる経済人を目指して切磋琢磨してゆきたいと思えます。

この一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

チャレンジ・オブ・事業



事業推進委員長
小野 昌人

昨年度、失敗続きの私を再び事業推進委員長に就かせていただき、光栄に思います。まだ未熟な私でありますゆえ、皆様のご支援におすがりして成長してまいる所存でございます。

さて、各会員の事情が違うのは仕方ないことですが、本会の参加チャンスをもたらす「異業種が集える場」に何を求めて参加するのかを考え、自分のビジョンを持って参加したときこそ、そこに『宝の山』を発見できるのではないのでしょうか。そして、本会(『宝の山』)を皆で様々な道具を使い掘り起こし、会員個々の財産として持ち帰ることこそ我々に課せられたミッション(社会的使命)であると思っております。

完成されていない青年だからこそ出来ること。そして、青年でなければ出来ないこと。今日、青年であることによるこびを感じ、一緒に色々な事業にチャレンジしようではありませんか。

第八回チャリティー

ゴルフ大会開催

毎年恒例となったチャリティーゴルフ大会が、6月14日小雨の中開催いたしました。今回も萩原前橋市長さんを始め、会議所OB諸氏、伊勢崎、桐生、藤岡、沼田の各単会の方々も出席いただき総勢214名となりました。

皆様のご努力により、チャリティー金も昨年より多く集まりました。また、ロースクイーンの皆様ご苦労様でした。



表彰式



新ローズクィーン ▶

青年部に入会して一年未満の新入会員の方々に抱負や自社PRをしていただきましたのでよろしくお願ひします

緑水会に対しての抱負



入会
平成12年10月4日
事業推進委員会
㈱プロフォーム
松 下 俊 宏

昨年の十月にこの会に入会させて頂き、どんな事業があるのかという事よりも、どんなメンバーの方々はいらっしゃるのかという事の方が興味がありました。まだ、全ての方とはお話しはしていませんが、緑水会定年までに、ゆっくりと良い出会い・良い関係を作り上げてゆきたいと思っています。

それには、委員会・事業への積極的な参加はもちろんの事、自社の継続と発展なくしては成り立たないものですので、一層の自覚を認識する機会になりました。

緑水会に入会して



入会
平成12年12月4日
会員交流委員会
㈱オオトリ
久保田 雅 幸

緑水会に入会させて頂き、半年が過ぎました。多くの催しがあり、家族共々大

変身させてもらっています。イベントの準備など、皆様が明るく、楽しく、積極的に行動している姿を見ると、とても力が湧いてくる気がします。

今後は今までのイベントを踏まえ、新世紀に相応しい催しを皆様と共に企画し、実行していきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。

よろしくお願ひいたします



入会
平成12年12月4日
会員交流委員会
大地はり灸整骨院
田 村 幸 雄

自社PR



入会
平成13年3月5日
会員交流委員会
(有)徳栄
阿 部 知 章

私の会社は、各種タオル製品、作業用ユニホームおよび女子ユニホーム、手袋・安全スニーカー等の作業用品、ギフト製品等、繊維製品を中心にした卸売りを主たる業務としております。最近は、オリジナルプリントを含む各種別注製品の販売に特に力を入れております。主な販売先は、県内外百貨店の外商部、量販店、小売店です。販売促進、イベント等のノベルティー等でお役に立つことがあ

りましたらご相談ください。 緑水会に対しての抱負



入会
平成13年3月5日
会員交流委員会
群馬ヤクルト販売㈱
岩 田 徳 之

私は生まれも育ちも前橋です。ですが、昔に比べると市街地の商店街などが活気を失っているように思えます。これは時代の流れと大型店が郊外に進出しているためと思われれます。その活性化を図るのが商工会議所の使命と思われま

すが緑水会とおして、また前橋市民の一員として元気のある街づくりに少しでも協力できればと思っています。今後の事業になるべく参加できるよう努力していくつもりです。

自社PR



入会
平成13年3月5日
会員交流委員会
(有)大洋舎
大 嶋 信 隆

大洋舎は、昭和29年に私の祖父が設立しました。そして、昭和46年に現在の場所に移転しました。事業内容は一般クリーニングと業務クリーニングがあります。一般クリーニングでは、外交やご来店されたお客様の品物をクリーニングします。業務クリーニングでは病院の白衣、

シャツや警察の制服や飲食店の白衣、クロス等をクリーニングしています。大洋舎では、初心・向上心を忘れず一層の努力を重ねて行きたいと思っています。

自社PR



入会
平成13年3月5日
会員交流委員会
㈱高取製作所
小 野 靖 浩

(株)高取製作所の小野です。当社は、アルミサッシ等の製造時に使用するアルミ押出し用金型を中心に、各種冶工具やアルミ材の加工を行っています。主な設備は、マシニングセンター15台(立・横)、ワイヤーカット放電加工機20台、形彫放電加工機14台、三次元測定器2台、他各種NC機、汎用工作機を取り揃えておりますので、何か加工のご用命がございましたら是非一声お掛けください。今後とも宜しくご指導の程お願ひいたします。

緑水会に入会して



入会
平成13年3月5日
会員交流委員会
㈱ジェイティービー
前橋支店
小 林 幸 盛

三月より新しく入会させていただきましたが、非常に歴史のある青年部に入れ

ていただき大変うれしく思います。

会員のみな様より経営についてのノウハウを教わり、また、委員会活動を通して知り合いを一人でも多く作りたいと思います。私としては旅行を通してしみやかな様のお役に立てませんが、青年部の活動会員のみな様の個人的な旅行、また、会社の旅行など少しでもお役に立てればと思います。

今後とも宜しくお願いします。

緑水会に入会して



入会
平成13年3月5日
会員交流委員会
立見建設(株)
立見 公一

当社は市内総社町にて総合建設業を営んでおります。現在、建設業界を取り巻く環境は入札適正化法の実施、また工事量の減少、それによる激しい受注競争のために非常に厳しいものがあります。請負業という体質上なかなか同業他社との差別化ができませんが、緑水会の皆様との交流を通し、少しでも多く事業に生かせるものを学び取り、「立見建設ならではの」というものを確立し、さらに「企業経営者としての心構え」と「人脈作り」を緑水会での活動目標とし頑張りたいと思います。

緑水会に対しての抱負



入会
平成13年3月5日
会員交流委員会
(株)加藤会計センター
三輪 洋之

入会して二カ月が経ち、いくつかの行事に参加させていただき、ようやく会員の方々の名前とお顔が少しずつ分かるようになってきたという感じです。

私は前橋生まれの前橋育ちですが、予備校・大学と高崎で過ごし、現時点渋川に住んでおり、また、昨年までは税理士試験勉強のため週末は東京で過ごすという生活を送っていたため、花火大会・前橋まつり等、前橋市の行事とは疎遠でしたので、緑水会の活動を大変興味深く思っています。

最後になりますが、税金に関することで疑問等がありましたら、お気軽にお声をおかけください。今後ともよろしくお願いたします。

緑水会に入会して



入会
平成13年4月4日
会員交流委員会
オリックス(株)
森 秀晃
前橋支店

皆様はじめまして、オリックス(株)の森秀晃と申します。緑水会には、和泉の後

を引き継ぐ形で入会することになりました。前橋には昨年の九月に来たばかりで、友人・知人も少なく、遊び場もあまり知りません。緑水会は、幅広い年代の方が御活躍されているということなので、積極的に参加して、たくさんの人と交流を深めていきたいと思えます。どうぞ、よろしくお願いたします。

緑水会に入会して



入会
平成13年4月4日
会員交流委員会
(有)アイザック
青木 豊治



入会
平成13年4月4日
会員交流委員会
(株)群馬銀行
田中 真

私の勤務する群馬銀行は、地域社会・経済の発展を常に考え行動し、お客さまのニーズにお応えすべく、幅広い金融サービスの提供に努めています。また、群馬県をはじめ各地の地域社会の発展を願って積極的に社会貢献活動に当行全体で参加しています。私も四月から、光栄にも緑水会のメンバーにさせていただきます。

前橋市の発展に諸先輩方と精一杯がんばりたいと思います。

緑水会に対しての抱負



入会
平成13年5月7日
会員交流委員会
サンケン工業(株)
寺島 崇雄

数年前に前橋に戻り、様変わりした街を愛犬アニーと散歩しながら、時には地元の友人達と歩きながら見つめてきました。そんな中、現監事天野洋一さんからの度重なるお誘いを頂き、我が街前橋に改めて慣れ親しむために緑水会に入会させて頂きました。異業種交流ならではの仲間と楽しい時を過ごすことができたら幸いです。合間を縫って出来るだけ多くのイベントに参加していきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

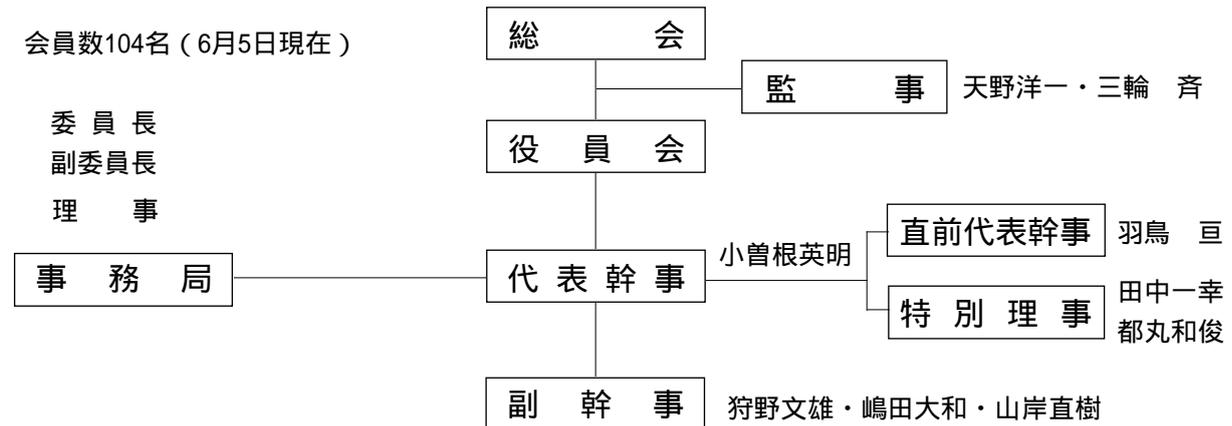


平成13年度前橋商工会議所青年部(緑水会)組織図

(順不同・敬称略)

- ・代表幹事 1名
- ・直前代表幹事 1名
- ・特別理事 2名
- ・副幹事 3名
- ・監事 2名(議決権無)
- ・理事 40名(正副代表幹事含む)
- ・役員合計 45名

会員数104名(6月5日現在)



18名 狩野文雄	18名 嶋田大和	19名 山岸直樹	25名 嶋田大和	17名 山岸直樹
事業推進委員会	地域開発委員会	経営研究会	会員交流委員会	総務広報委員会
小野 昌人	石井 繁紀	木暮 一裕	荻野 修二	伴 卓
長谷 浩克	宮田 美恵	原澤 康隆	一守 和子	岡田 友子
阿久津和彦	舟岡 徳靖	田島 宏明	町田 憲昭	五十嵐 経世
丸田 大介	飯塚 輝明	前田 修	藤咲 英樹	三輪田 聡
馬場 瑞枝	茂木 克之	今村 暢男	木暮 裕索	伊東 研一
安達 一志	角張 智之	大島 弘光	田村 秀樹	渡邊 敏彦
鶴見 正宣	稲村 啓	飯塚 正人	飯島 正成	小岩井 宏
井口 直人	伊藤 知昭	小出 恒通	相馬 修二	角田 健
高橋いづみ	宇貫 昌人	宇野 剛毅	岩田 徳之	関 和行
田島 雅彦	根岸 敦	中島 次夫	山岸 修	川尻 賢
田中 健一	久保田 誠	石関 俊午	小野 靖浩	本間 元彦
樋口 岳志	北爪 英樹	石川 靖	田村 幸雄	服部 政博
松下 俊宏	峯岸 一浩	樋澤 一幸	三輪 洋一	吉田 将輝
大島 昭夫	井上 哲孝	小泉 俊哉	星野 洋	田中 真
島田 涉	長坂 雅紀	堀 三男	桐生 岳	後藤 寛之
八木原重雄	木村 道俊	中田 和郎	小林 幸盛	秋間 良治
福田 聡樹	佐藤 敬	根岸 雅一	青木 豊治	吉田 七月
関 直人	永井 鉄平	森本 克哉	阿部 知章	
		山下 実	塚越 正浩	
			久保田 雅幸	
			立見 公一	
			森 秀晃	
			大嶋 信隆	
			寺島 崇雄	
			萩原 勝	